

＜学校図書館の仕事＞

- ・図書館の開館
- ・選書
- ・本の貸出・返却
- ・予約
- ・本の受け入れ
- ・図書館オリエンテーション
- ・広報
- ・生徒図書委員会の運営
- ・学年・教科との連携 など

＜学校図書館法＞ <https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=328AC1000000185>

第一条 この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もって学校教育を充実することを目的とする。

＜子どもの読書活動の推進に関する法律＞ 平成13年法律第154号

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=413AC1000000154>

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

＜文字・活字文化振興法＞ 平成17年法律第91号

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=417AC1000000091>

第一条 この法律は、文字・活字文化が、人類が長い歴史の中で蓄積してきた知識及び知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵（かん）養並びに健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることにかんがみ、文字・活字文化の振興に関する基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文字・活字文化の振興に関する必要な事項を定めることにより、我が国における文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

＜図書館の自由に関する宣言＞ 日本図書館協会

<https://www.jla.or.jp/library/gudeline/tabid/232/Default.aspx>

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、「資料」と「施設」を提供することをもっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

<選書ツール>

○書籍

- ・『このミステリーがすごい!』『このライトノベルがすごい!』『このマンガがすごい!』宝島社

○雑誌

- ・『ダ・ヴィンチ』KADOKAWA
- ・『本の雑誌』本の雑誌社
- ・『学校図書館』全国学校図書館協議会
- ・『図書館雑誌』日本図書館協会
- ・各出版社の月刊情報誌 『図書』岩波書店、『波』新潮社、『青春と読書』集英社

○目録

- ・SLBA のカタログ

SLBA とは、School Library Book Association の頭文字を採ったもので一般社団法人学校図書館図書整備協会の略称。「SLBA 選定図書案内」が学校に届く。

- ・中学・高校図書館向『図書目録』日教販
- ・小学校・中学校・高等学校図書館・公共図書館のための選書カタログ『としょかんの本』
クリーンブックス・グループ
- ・各出版社から出されるフェアカタログ
『高校生に読んでほしい50冊（新潮文庫）』 『新潮文庫の100冊』 『ナツイチ（集英社文庫）』
『カドフェス（角川文庫）』など
- ・『ヤングアダルト図書総目録』ヤングアダルト出版会

○流通系・出版社系

- ・日販ブックカタログ
- ・児童図書選書のための総合ブックカタログ『Luppy』（トーハン）
- ・本のもくろく（十社の会）
- ・各出版社から送られてくるパンフレット

○新聞系

- ・各新聞の書評欄 / 各新聞の下にある広告欄
- ・Book Bang 新聞・出版社の書評まとめ読み！本の総合情報サイト <https://www.bookbang.jp/>
- ・好書好日 Good Life With Books 朝日新聞デジタル <https://book.asahi.com>

○書店・流通サイト

- ・本の総合カタログ Books（出版書誌データベース） www.books.or.jp/
- ・honto <http://honto.jp/>（丸善&ジュンク堂書店）
- ・紀伊国屋ウェブストア <https://www.kinokuniya.co.jp/>
- ・e-hon（トーハン） <http://www.e-hon.ne.jp/>
- ・Honya Club（日版） <http://www.honyaclub.com/>
- ・ToshoTosho トショトショ（日版 図書館選書センター内） <https://toshotosho.jp/> ※5月1日プレオープン
小・中学校向けの図書の常設展示スペースである「図書館選書センター」を運営する日本出版販売と、
大手児童書出版社、図書館関連会社のプロジェクトにより立ち上げた、図書館さま向けの選書サイト。
- ・Amazon <https://www.amazon.co.jp/>

- ・楽天市場 <http://www.rakuten.co.jp/>
- ・HMV <http://www.hmv.co.jp/books/>
(通販サイト(楽天、Amazon、HMV など)のランキングなどが参考になります)

○出版社系サイト

- ・WEB本の雑誌 <http://www.webdoku.jp/>
- ・絵本ナビ <http://www.ehonnabi.net/>
- ・小説丸(小学館) <https://shosetsu-maru.com/>
- ・講談社BOOK倶楽部 <https://bookclub.kodansha.co.jp/>

○本の感想をまとめたサイト・アプリなど

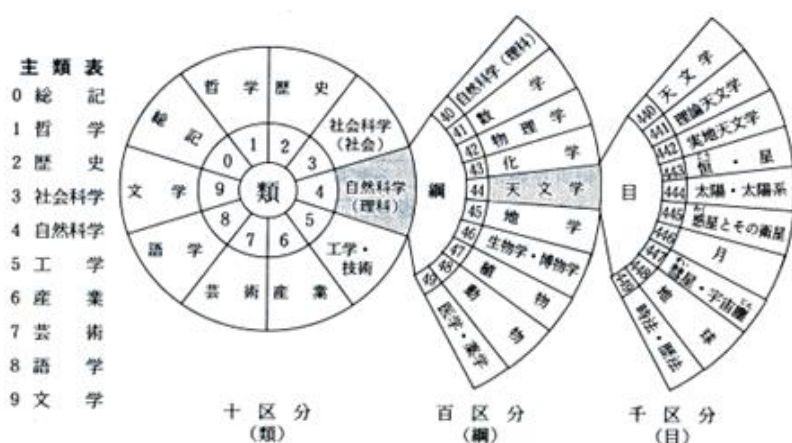
- ・読書メーター <http://bookmeter.com/>
読書記録をつけたり、日本中の読書家さんたちとコミュニケーションができるサービス。
- ・ブックログ web 本棚サービス <http://booklog.jp/>
ウェブ上に本棚をつくり、感想を読みあつたり、新しい本に出会ったりできるサービス。
- ・HONZ(ノンフィクション) <http://honz.jp/>
小説を除くサイエンス、歴史、社会、経済、医学、教育、美術、ビジネスなどあらゆる分野の著作が対象。ただし自己啓発書、IT 専門書はなし。3 か月以内の新刊書が対象。
- ・読書管理ビブリア(アプリ)
出会った本をサクサク登録し、本に関するメモと感想をそれぞれ記録できるサービス。
- ・ブックツリー(honto) <https://honto.jp/booktree.html>
本の専門家が独自のテーマで集めた数千の本を、あなたの” 関心・興味” や” 読んでなりたい気分” に沿ってご紹介。
- ・NetGalley(ネットギャラリー) <https://www.netgalley.jp/>
発売前の本のレビューや刊行情報を、NetGalley を通じて、出版社と会員で共有できるサービス。
- ・BOOK4U <https://4u.bookcase.jp/>
AI が自分に合った本を選んでくれる Web サービス。文学作品の心理成分、およそ 100 項目を AI が解析し、読者の嗜好や性格、今の気分フィットしたおすすめの本を提案。

○その他

- ・図書館蔵書検索サイト「カーリル」 <https://calil.jp/>
全国 7,400 以上の図書館からリアルタイムの貸出状況を簡単に検索できるサービス。
- ・大阪府内 Web-OPAC 横断検索 <https://www.library.pref.osaka.jp/cross/cross.html>
大阪府内の公共図書館を中心に、複数の図書館等の所蔵資料を一度に検索できるシステム。
- ・子ども読書の情報館(文部科学省) <https://kodomodokusyo.go.jp/>
子どもたちが自らアクセスして参加でき、子どもや保護者はもとより、地域のボランティアや図書館関係者など多様な地域活動に参画する関係者を応援していくための情報を発信する情報サイト。
- ・国立国会図書館 <https://www.ndl.go.jp/>
国立国会図書館の所蔵資料やデジタル資料を検索したり、閲覧やコピーを申し込んだり、様々なサービスが利用できる。
- ・レファレンス協同データベース <https://crd.ndl.go.jp/reference/>
レファレンス協同データベース(レファ協)は、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、レファレンス(調べものの相談)のデータベース。

<日本十進分類法 (Nippon Decimal Classification; NDC) >

日本十進分類法 (Nippon Decimal Classification; NDC) とは、日本で使われている図書分類法。図書の主題となる、あらゆる知識を 1～9 の数字を用いて分類し、どの区分にも属さない全般的なものには 0 を用いる。



000 総記	200 歴史	400 自然科学	600 産業	800 言語
010 図書館	210 日本史	410 数学	610 農業	810 日本語
020 書誌学	220 アジア史	420 物理学	620 園芸	820 中国語
030 百科事典	230 ヨーロッパ史	430 化学	630 蚕糸業	830 英語
040 論文集	240 アフリカ史	440 天文学	640 畜産業	840 ドイツ語
050 逐次刊行物	250 北アメリカ史	450 地球科学	650 林業	850 フランス語
060 団体	260 南アメリカ史	460 生物科学	660 水産業	860 スペイン語
070 新聞	270 アジア史	470 植物学	670 商業	870 イタリア語
080 叢書	280 伝記	480 動物学	680 運輸・交通	880 ロシア語
090 貴重書	290 地理・紀行	490 医学・薬学	690 通信事業	890 他の言語
100 哲学	300 社会科学	500 技術・工学	700 芸術	900 文学
110 哲学各論	310 政治	510 建設学	710 彫刻	910 日本文学
120 東洋思想	320 法律	520 建築学	720 絵画・書道	920 中国文学
130 西洋思想	330 経済	530 機械工学	740 写真	930 英米文学
140 心理学	340 財政	540 電気工学	730 版画	940 ドイツ文学
150 倫理学	350 統計	550 海洋工学	750 工芸	950 フランス文学
160 宗教	360 社会	560 金属工学	760 音楽・舞踊	960 イタリア文学
170 神道	370 教育	570 化学工業	770 演劇・映画	970 ロシア文学
180 仏教	380 民俗学	580 製造工業	780 スポーツ	980 他の諸文学
190 新宗教	390 軍事	590 生活科学	790 娯楽	

・NDC Navi http://jasmine.media.osaka-cu.ac.jp/ndc_navi10/

NDC Navi は NDC を簡単に調べることができるツール。NDC10 (日本十進分類法 10 版) の電子化版である NDC・MRDF10 を探すことができる。国立国会図書館サーチや大阪公立大学蔵書検索(OPAC)と連携。

<著作権法> 昭和45年法律第48号

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=345AC0000000048>

第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与することを目的とする。

・文化庁 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/>

・著作権情報センター <https://www.cric.or.jp/index.html>

・本の表紙写真(書影)を学校で使う場合に許諾は必要か? (図書だより・ウェブサイト・Google クラブルーム)

原口 直の学校著作権ナビ <https://maruc.work/20220921-youtube>